



技術評価書

申込者：JFE条鋼株式会社 代表取締役社長 渡邊 誠
東京都港区新橋五丁目11番3号

技術名称：ネジプレート定着工法 RCS 混合構造設計指針(2018年)

技術概要： 本工法 RCS 混合構造設計指針(2018年)は、SRC 柱梁接合部編と柱 RC 梁 S 接合部・柱 SRC 梁 S 接合部編、ならびに新規の鉄骨露出柱脚・基礎梁主筋定着部編(2018年)および鉄骨根巻き柱脚・基礎梁主筋定着部編(2018年)からなる。
2017年7月の技術評価は、主として鉄骨露出柱脚・基礎梁主筋定着部編(2017年)について行われ、2018年5月の技術評価は、主として鉄骨露出柱脚・基礎梁主筋定着部編(2018年)および鉄骨根巻き柱脚・基礎梁主筋定着部編(2018年)について行われている。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2018年5月15日

一般社団法人
建築構造技術支援機構
建築構造技術審議委員会
委員長 窪田 敏行

記

評価方法： 申込者提出の下記資料によって、技術評価を行った。
ネジプレート定着工法 RCS 混合構造設計指針(2018年)および説明資料
この資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した技術資料がまとめられている。この資料のほかに、関連資料が提出されている。

評価内容： 申込者提案のネジプレートを用いた異形鉄筋定着部は、設計で保証すべき長期荷重時、短期荷重時および終局耐力時の要求性能を満足すると判断される。